



The Rotary Club 06 Hamamatsu Siyou Weekly Report 浜松志耀ロータリークラブ 週報

浜松志耀ロータリークラブ 第65回例会

開催日時:2025年10月9日(木)午前 7:30 ~ 8:30
開催場所:オークラアクトシティホテル浜松 3階 チェルシーの間

■ 会長挨拶 衛藤会長

ロータリアンのみなさま、ආයුබෝවන්(アユボワン)おはようございます。朝早くからお集まりいただきありがとうございます。

今日は、甲府南RCから、エリヤワ・ラシタ・アサンカさん、遠路お越しいただきまして誠に有難うございます。ස්තුතියි(スチューティー)。米山学友会活動についてのお話楽しみです。

本日のテーマは、「平和」です。みなさんは、米山梅吉さんをご存じでしょうか？ 米山梅吉さんは、東京に生まれたが、父の逝去により、母の郷里である静岡県三島市の米山家に移住、向学心が強く15歳で家出、親戚の家から東京銀座の学校に通学、英語を猛勉強し19歳で渡米、8年間の修学を経て帰国し、三井銀行に入社、下積みを経て重役を歴任、50歳で三度目の渡米中に、ロータリーを知り、52歳で日本初のロータリークラブ東京RC(帝国ホテルで例会)を設立。昭和21年78歳で亡くなられるまでに、数多くの社会奉仕事業を行った人です。

米山奨学制度は、昭和27年に東京RCの奉仕事業としてスタート。米山記念奨学基金の目的は、日本のロータリーの創設者、米山梅吉の功績を記念し、アジア地域から優秀な学徒を日本に招致して学問、技術を研究させようとするものであり、一番最初の奨学生は、当時東京大学農学部で養蚕を学んでいたタイ人のソムチャード＝ラタナチャタさん(現在息子さんはタイで精神科医をしています)。その後、他のRCを巻き込んで全国的な組織である米山記念奨学会となり、現在は、累計24,000人以上の奨学生を迎え、国内では、民間最大の国際奨学事業となっている、とのこと。

当クラブでも、クラブ発足1年目に、中国からの奨学生李根(りこん)君を迎え、世話クラブとなり、異文化交流をさせていただきました。また、10月18日土曜日開催予定の大志育英委員会による街頭募金活動でも、毎回多くの米山記念奨学生に手伝っていただいております。

米山梅吉さんが、この米山記念奨学事業を始めた訳ではありません。また、昨今は、〇〇ファーストと声高に主張をする方々も増え、この米山記念奨学事業に関して、その対象となる学生を、外国人ではなく国内の貧しい学生を優先すべき、との意見も聞き及ぶようになってきました。

以前、どこかの地区大会にて、米山記念奨学生の方から、「ロータリアンは経済的・金銭的余裕のある方々である、というよりも「こころの余裕」がある方々なのだと知った」というようなスピーチがありました。米山梅吉さんがこの事業をスタートさせた訳ではないですが、晩年の米山さんは、がん患者の治療研究や、病院施設の拡充、過疎地の医療拡充にも熱心に取り組み、特に、らい病施設訪問(当時、らい病(ハンセン病)は不治の病、伝染病とされ、国の視察官でさえも施設に入ろうとしなかったなか)、米山さんは患者のひとりひとりにお土産を持参して慰問を続けたそうです。また、アジアからの留学生にも個人的な援助をしていたようです。

日本のロータリークラブは、太平洋戦争の勃発する前年に解散させられました。米山さんは、国際ロータリーへの復帰を見届けることなく逝去されました。

米山記念奨学金の目的は、日本が再び戦争の過ちを繰り返さない誓いと、世界に「平和日本」の理解を促すことにあります。留学生が平和を求める日本人と出会い、互いに信頼し合う関係を築き、「日本と世界を結ぶ懸け橋」となることを願ってつくられたのです。米山さんの「志」が継承され続けることを共に願いましょう。

本日もよろしくお願いいたします！

■ 握手タイム と 黙想

当クラブでは、例会開会前に、会員どおしで握手を行います。握手タイムは久米会員の担当です。

また、冒頭、1分間の黙想を行います。

■ 幹事報告 西川幹事

1. 台風15号・牧之原の竜巻被害への義援金 22,160円を地区に送金しました。皆様からのご協力、ありがとうございます。

2. 本日の例会終了後に理事会を開催します。場所は南部協働センターです。会員の皆様のオブザーバー参加もお願いします。

■ 連絡事項

①大志育英委員会 小澤委員長

10/18(土)に募金活動を行います。今回は、当クラブ会員のみで行います。多くの皆様のご参加をお願いします。

②財団プログラム委員会 河野委員長

10/25(土)に地区補助金事業「阿多古体験プロジェクト」を開催します。11時30分の集合です。清明寮などの子ども達を迎えた活動です。多くの皆様のご参加をお願いします。

■ お誕生日お祝い 松井会員

おめでとうございます。

■ 卓話「歩みと夢」米山記念奨学委員会 ラシタ・エリヤワさん(甲府南RC)

・2001年来日し、現在46才で、甲府南RCの会員です。専門はロボット工学で、有名な四つ足ロボットの特許を持っています。現在、大手半導体メーカーで働きながら、スリランカと日本の輸出入や人材交流などのビジネスも行っています。

・2006年に米山奨学生時代は、カウンセラーをはじめロータリーの方々に大変お世話になりました。

・現在、米山学友会の活躍の場を増やしたいと思っていて、年50回ほど、全国のクラブで卓話をしています。

・各クラブは奨学生に寄付をしていますが、もっと学友メンバーを利用して欲しいですし、学友メンバ



よいことの



よいことのた

2025-26年度 国際ロータリー会長の



一も会員さんとのコミュニケーションを望んでいます。ロータリーの組織や仕組みを使って、ロータリー会員の会社に就職したりビジネスなどする機会が広がっていくと良いと考えて行動しています。

・スリランカは小学校から大学まで無償で勉強できます。文具や制服などの負担があるので、その援助をしてきました。ここ数年は、スリランカに雇用を生む事に力を入れています。子ども達の親の仕事を創る活動に力を入れていて、今後も拡大していきたいと考えています。

スマイル

- ①衛藤会長・西川幹事ーラシタさんへの御礼
- ②小澤会員・村田会員ーラシタさんへの御礼
- ③松井会員ー誕生日お祝いへの御礼
- ④加藤会員ー例会に参加しました

※ゲスト1名(ラシタ・エリヤワさん甲府南 RC)
※出席率: 77.4 % (会場 20名+BAND 4=24名/31名)



国際ロータリー第2620地区 静岡第5グループ 浜松志耀ロータリークラブ
例会場/オークラアクティシティホテル浜松 第2・第4木曜日/7:30-8:30 090-7682-7106

